

Weekly Global Economy

米国 今週発表予定の経済指標等の見通し

発表日：06年11月27日(月)

～FOMC関係者の講演、ベージュブック、経済指標では景気の減速、インフレ加速の回避が確認される見込み～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

当面の経済指標等の予測

日時(日本時間)		単位	予測	コンセンサス	前月
2006/11/28 22:30	10月 耐久財受注	前月比	-4.2%	-5.0%	7.8%
2006/11/28 22:30	10月 耐久財(除輸送用機器)	前月比	0.1%	0.2%	0.1%
2006/11/29 0:00	11月 消費者信頼感指数		106.5	106.0	105.4
2006/11/29 0:00	10月 中古住宅販売件数	百万戸	6.2	6.2	6.2
2006/11/29 0:00	11月 リッチモンド [®] 連銀製造業指数		0.0	-	-2.0
2006/11/29 2:30	バーナンキFRB議長、昼食会でスピーチ				
2006/11/29 2:30	フィラデルフィア連銀総裁、経済セミナーで講演				
2006/11/29 6:30	シカゴ連銀総裁、シカゴで講演				
2006/11/29 7:00	週間 ABC消費者信頼感指数		0.0	-	0.0
2006/11/29 21:00	週間 MBA住宅ローン申請指数	前月比	1.0%	-	-3.7%
2006/11/29 22:30	3Q 実質GDP	前期比年率	1.8%	1.8%	1.6%
2006/11/29 23:00	NY連銀総裁、金融インフラに関するパネル討論会				
2006/11/30 0:00	10月 新築住宅販売件数	千戸	1052	1048	1075
2006/11/30 4:00	ベージュブック				
2006/11/30 22:30	10月 個人所得	前月比	0.5%	0.5%	0.5%
2006/11/30 22:30	10月 個人支出	前月比	0.1%	0.1%	0.1%
2006/11/30 22:30	10月 PCEコア・デフレ率	前月比	0.1%	0.1%	0.2%
2006/11/30 22:30	10月 PCEコア・デフレ率	前年比	2.2%	2.3%	2.4%
2006/11/30 22:30	週間 新規失業保険申請件数	千件	315	316	321
2006/11/30 22:30	週間 失業保険継続受給者数	千件	2464	2445	2454
2006/12/1 0:00	10月 求人広告指数		30	30	30
2006/12/1 0:00	11月 シカゴ [®] 購買部協会景気指数		53.1	54.0	53.5
2006/12/1 0:00	3Q 住宅価格指数	前期比	0.5%	0.5%	1.2%
2006/12/1 3:15	バイズFRB理事、バーゼルIIに関する昼食会で基調演説				
2006/12/1 23:00	バーナンキFRB議長、金融政策に関する会合で歓迎スピーチ				
2006/12/1 23:30	フィラデルフィア連銀総裁、経済成長について講演				
2006/12/2 0:00	10月 建設支出	前月比	-0.5%	-0.4%	-0.3%
2006/12/2 0:00	11月 ISM製造業景気指数		52.7	51.8	51.2
2006/12/2 0:00	11月 自動車販売台数総計	百万台	16.4	16.4	16.2
2006/12/2 3:00	シカゴ連銀総裁、経済見通しについてスピーチ				
2006/12/2 3:45	リッチモンド連銀総裁、フィラデルフィアで講演				
2006/12/2 10:00	コーンFRB副議長、金融政策に関する夕食会でスピーチ				

(出所) コンセンサスはBloomberg調べ、予測は筆者。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

●11月28日

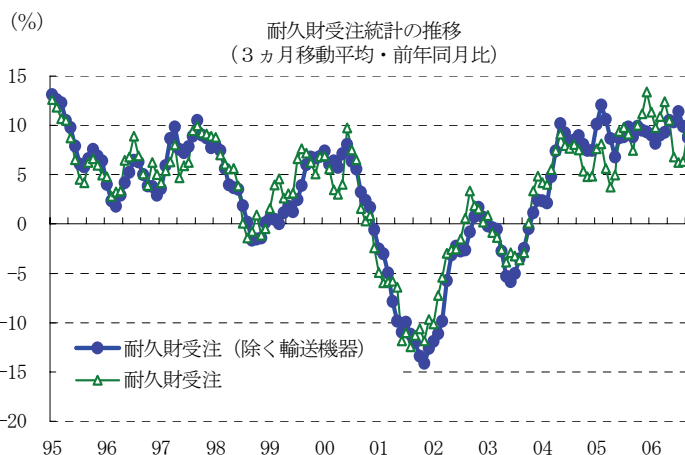
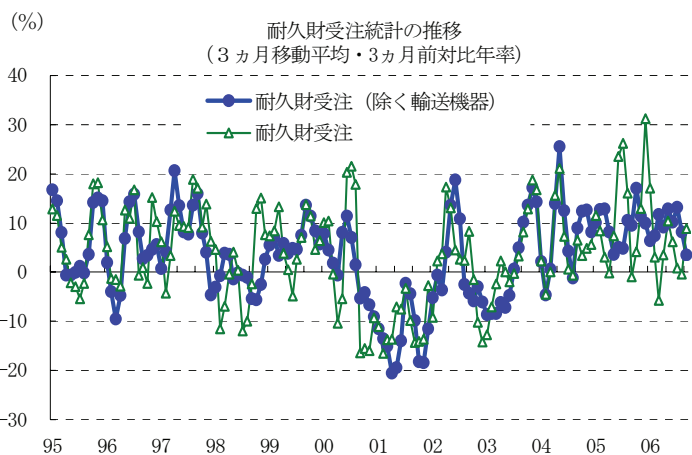
- ・10月の耐久財受注は、価格下落、前月の高い伸びの反動によって前月比▲4.2%とマイナスが予想される。輸送用機器除く耐久財受注は、増加基調を維持するものの小幅なものにとどまり拡大トレンドの鈍化が確認される見込み。
- ・11月の消費者信頼感指数は、失業率の低下、株高を背景に前月から改善し、高い水準が維持されると予想され、個人消費の安定的な拡大を示唆しよう。
- ・10月中古住宅販売件数は、住宅ローン申請件数の減少ペース鈍化を映じて小幅減少にとどまる見込み。在庫率は供給の増加によって引き続き高水準を維持すると予想される。
- ・11月リッチモンド連銀製造業指数は他の地区連銀統計と同様に前月から小幅改善しよう。
- ・ポールソン財務長官がロンドンで講演、フィラデルフィア連銀総裁が経済セミナーで講演

耐久財受注 (Advance Report on Durable Goods Manufacturers' Shipments and Orders)

	出荷				受注				在庫			
	耐久財	除く輸送機器		非国防資本財	耐久財	除く輸送機器		非国防資本財	耐久財	除く輸送機器		非国防資本財
05/2Q	+0.9	+0.7	(+7.9)	+1.2	+5.4	+1.2	(+5.0)	+1.6	▲0.3	▲0.1	+0.0	
05/3Q	+1.2	+1.4	(+6.3)	+1.5	▲0.2	+2.3	(+9.5)	+1.5	+0.4	+0.5	+1.9	
05/4Q	+3.7	+3.4	(+7.9)	+3.1	+7.0	+2.4	(+10.0)	+2.4	+1.1	+0.9	+0.3	
06/1Q	+1.2	+2.8	(+8.5)	+2.5	▲1.5	+2.8	(+11.7)	+3.9	+0.9	+1.5	+1.5	
06/2Q	+1.1	+1.3	(+9.1)	+1.4	+1.5	+2.5	(+10.2)	+0.9	+2.8	+2.6	+1.4	
06/3Q	+0.3	+1.4	(+9.1)	+1.8	+2.1	+0.9	(+3.5)	+3.1	+2.8	+3.3	+2.7	
06/01	▲1.3	+1.1	(+7.9)	+1.1	▲7.6	+1.9	(+9.5)	+2.1	+0.4	+0.8	+0.7	
06/02	+0.3	+0.3	(+9.2)	▲0.9	+3.6	▲1.2	(+7.1)	▲1.0	▲0.5	▲0.3	+0.1	
06/03	+0.3	▲0.2	(+8.4)	+2.0	+6.0	+3.4	(+10.5)	+3.4	+1.0	+1.0	+0.7	
06/04	▲1.2	▲0.3	(+7.7)	+0.4	▲4.7	▲1.0	(+10.3)	▲2.1	+1.2	+1.1	+0.8	
06/05	+3.0	+2.2	(+9.4)	+0.0	+0.3	+1.6	(+10.8)	+1.3	+0.7	+0.7	▲0.0	
06/06	+0.2	+0.6	(+10.2)	▲0.2	+3.3	+1.8	(+10.0)	+0.9	+0.9	+0.7	+0.6	
06/07	▲1.3	+0.3	(+10.8)	+1.5	▲2.8	▲0.1	(+13.4)	+0.6	+1.1	+1.1	+0.9	
06/08	+2.1	+0.8	(+9.4)	+1.3	+0.0	▲1.3	(+6.4)	+1.1	+0.7	+1.2	+1.0	
06/09	▲2.5	▲1.7	(+7.2)	▲1.3	+8.3	+0.5	(+6.8)	+2.0	+1.1	+0.9	+0.7	

(出所) 商務省

(注) 四半期は前期比、月次は前月比伸び率。()内は季節調整値の前年比。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

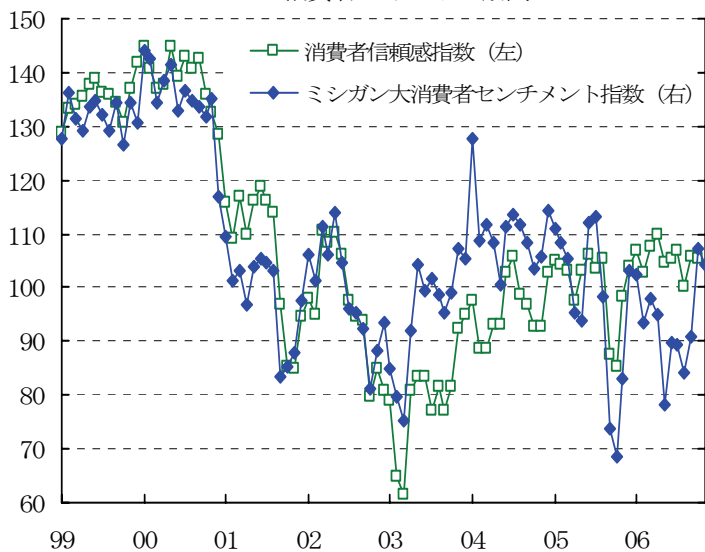
消費者信頼感 (Consumer Confidence)

	消費者信頼感指数			雇用判断		半年後の景況感		半年以内の購入計画		ミシガン大学消費マインド		
		期待指数	現状指数	充分	困難	良くなる	悪くなる	自動車	住宅	期待	現状	
06/01	106.8	92.1	128.8	27.0	20.3	17.9	10.5	6.7	3.0	91.2	78.9	110.3
06/02	102.7	84.2	130.3	27.4	20.2	16.2	10.9	7.1	3.4	86.7	74.5	105.6
06/03	107.5	90.3	133.3	28.3	20.4	17.8	9.8	5.8	4.1	88.9	76.0	109.1
06/04	109.8	92.3	136.2	29.4	19.7	17.3	9.3	6.8	3.1	87.4	73.4	109.2
06/05	104.7	85.1	134.1	29.1	20.2	16.5	12.9	6.3	2.9	79.1	68.2	96.1
06/06	105.4	87.5	132.2	28.0	20.0	16.8	11.9	5.5	3.2	84.9	72.0	105.0
06/07	107.0	88.9	134.2	28.6	19.6	16.1	10.9	6.9	3.8	84.7	72.5	103.5
06/08	100.2	84.4	123.9	24.5	21.1	16.2	12.9	6.9	3.8	82.0	68.0	103.8
06/09	105.9	91.0	128.3	26.2	20.9	16.5	10.3	6.0	2.9	85.4	78.2	96.6
06/10	105.4	92.6	124.7	25.8	22.0	18.5	9.9	6.2	2.9	93.6	84.8	107.3
06/11										92.1	83.2	106.0

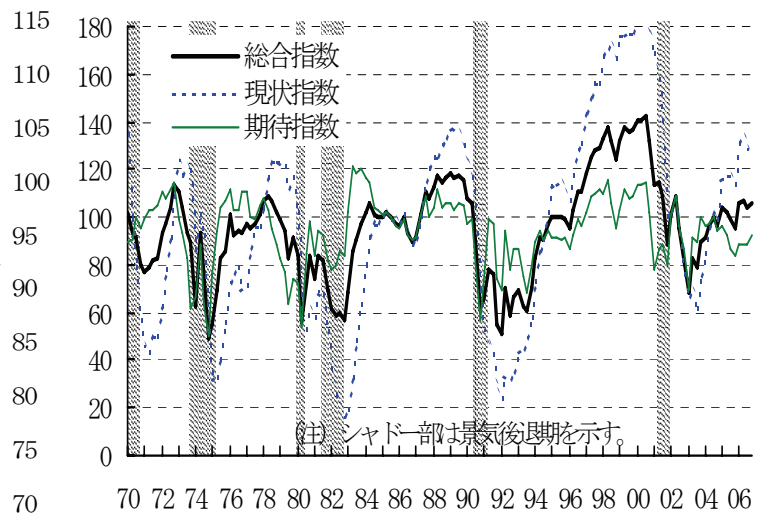
(出所) The Conference Board, University of Michigan

(注) 「雇用判断」、「半年後の景況感」、「購入計画」の単位は%で、全体に占める割合を指す。

消費者マインドの動向



消費者信頼感指数の推移(四半期)

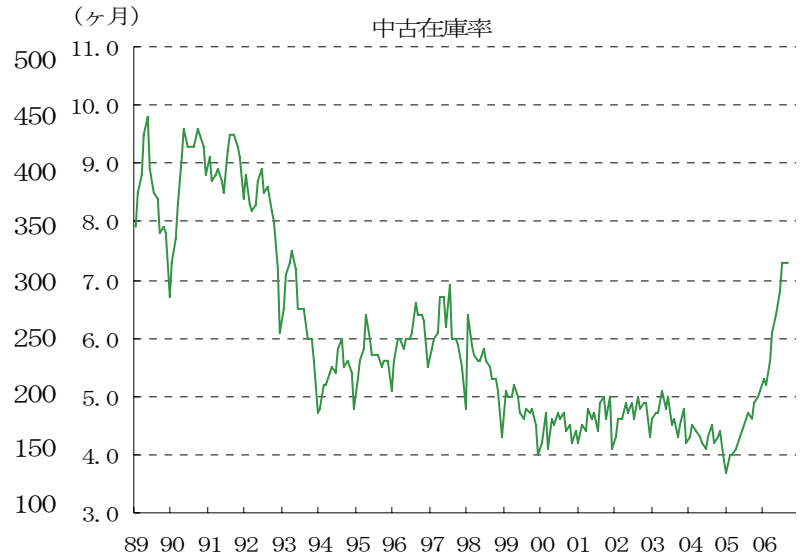
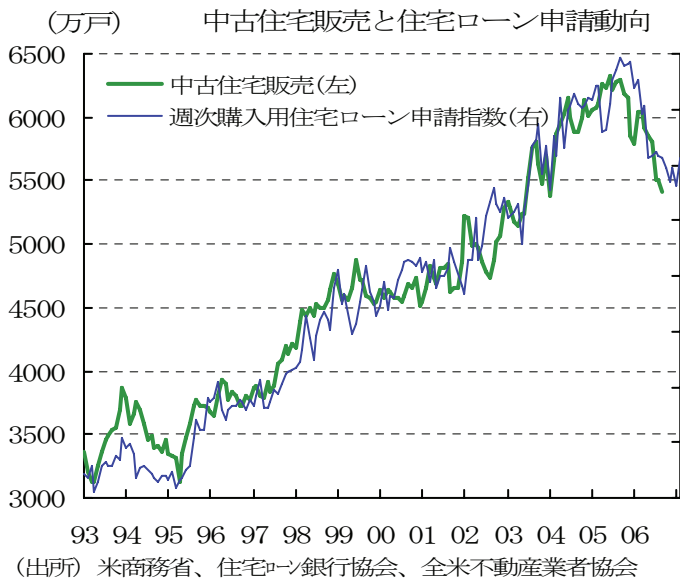


住宅関連指標の動向

	中古住宅販売			中古住宅販売価格		中古住宅 在庫率	モーゲージ 購入指数	モーゲージ 金利	住宅市場 指数	住宅着工			
	コンドミニアム	一戸建て		中間	平均					一戸建て	2~4戸	5戸以上	
06/01	6570	781	5790	+12.6	+8.8	5.3	+1.6	6.10	57	2265	1814	27	424
06/02	6900	852	6050	+10.4	+5.8	5.2	▲10.2	6.23	56	2132	1812	35	285
06/03	6900	862	6040	+7.8	+4.4	5.6	+0.2	6.38	54	1972	1615	36	321
06/04	6750	836	5910	+4.3	+3.7	6.1	+1.1	6.54	51	1832	1524	56	252
06/05	6710	852	5860	+5.9	+3.7	6.4	▲0.8	6.64	46	1953	1587	51	315
06/06	6600	796	5800	+0.5	+0.6	6.8	▲0.8	6.72	42	1833	1478	44	311
06/07	6330	822	5510	+1.4	+0.7	7.3	▲2.1	6.71	39	1760	1445	83	232
06/08	6300	788	5510	▲2.4	▲1.7	7.3	▲3.2	6.41	33	1659	1365	41	253
06/09	6180	763	5420	▲2.5	▲2.3	7.3	+3.3	6.28	30	1740	1400	28	312
06/10							▲3.9	6.30	31	1486	1177	43	266

(注) 単位は住宅販売が千戸、その他は%。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



●11月29日

- ・7-9月期実質GDP（前期比年率、改定値）は、速報段階から純輸出のマイナス寄与が縮小するため、小幅上方改定されよう。
- ・10月新築住宅販売件数は、2ヵ月連続で増加したこともあり前月から縮小するものの、良好な雇用・所得環境、モーゲージ金利の低下、住宅販売価格の下落等を背景に100万戸（季節調整済み年率）台の高い水準を維持しよう。
- ・ベージュブックでは、景気の拡大持続とそのペースの小幅鈍化が指摘されよう。インフレ面では原材料価格の上昇圧力の緩和、小売段階での物価抑制が報告される見込み。
- ・シカゴ連銀総裁がシカゴで講演、NY連銀総裁が金融インフラに関するパネル討論会

実質GDP (Gross Domestic Product)

	実質GDP							名目GDP		GDP デフレーター	
		個人消費	住宅投資	設備投資	在庫投資	政府支出	純輸出	輸出	輸入		
2000	+3.7	+4.7	+0.8	+8.7	(▲0.13)	+2.1	(▲0.88)	+8.7	+13.1	+5.9	+2.2
2001	+0.8	+2.5	+0.4	▲4.2	(▲0.90)	+3.4	(▲0.20)	▲5.4	▲2.7	+3.2	+2.4
2002	+1.6	+2.7	+4.8	▲9.2	(+0.45)	+4.4	(▲0.73)	▲2.3	+3.4	+3.4	+1.7
2003	+2.5	+2.8	+8.4	+1.0	(+0.02)	+2.5	(▲0.47)	+1.3	+4.1	+4.7	+2.1
2004	+3.9	+3.9	+9.9	+5.9	(+0.38)	+1.9	(▲0.70)	+9.2	+10.8	+6.9	+2.8
2005	+3.2	+3.5	+8.6	+6.8	(▲0.31)	+0.9	(▲0.26)	+6.8	+6.1	+6.3	+3.0
05/1Q	+3.4	+2.7	+11.1	+6.0	(+0.09)	+1.6	(▲0.16)	+4.7	+4.1	+7.0	+3.4
05/2Q	+3.3	+4.2	+19.9	+5.1	(▲2.23)	+1.1	(+0.72)	+9.4	+1.4	+5.8	+2.5
05/3Q	+4.2	+3.9	+7.1	+5.9	(▲0.18)	+3.4	(▲0.06)	+3.2	+2.5	+7.6	+3.3
05/4Q	+1.8	+0.8	▲1.0	+5.2	(+2.05)	▲1.1	(▲1.07)	+9.6	+13.2	+5.1	+3.3
06/1Q	+5.6	+4.8	▲0.3	+13.7	(▲0.03)	+4.9	(▲0.04)	+14.0	+9.1	+9.0	+3.3
06/2Q	+2.6	+2.6	▲11.1	+4.4	(+0.44)	+0.8	(+0.42)	+6.2	+1.4	+5.9	+3.3
06/3Q	+1.6	+3.1	▲17.4	+8.6	(▲0.10)	+1.9	(▲0.58)	+6.5	+7.8	+3.4	+1.8

(出所) 商務省 (Department of Commerce)、予測は当社。

(注) 数字は前期比年率伸び率。但しカッコ内は対実質GDP寄与度（前期比年率ベース）

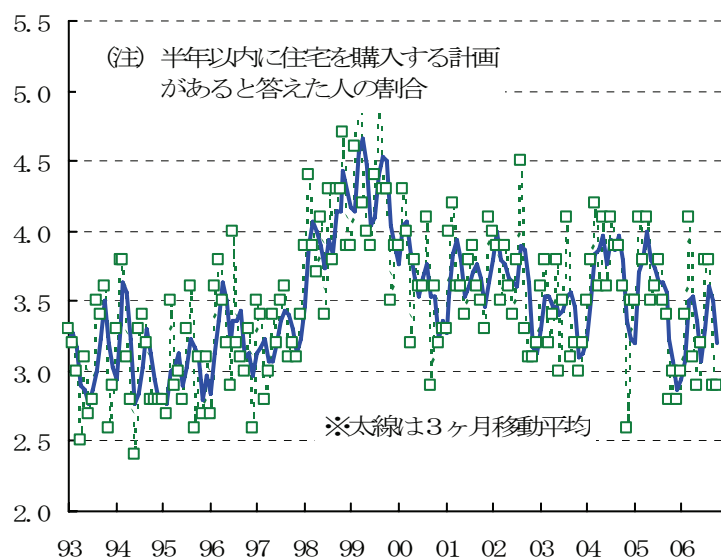
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

住宅関連指標の動向

	住宅販売(1戸建て)		平均住宅販売価格		新築住宅	中古住宅	モゲージ	モゲージ	住宅市場	住宅着工	住宅許可				
	新築	中古	新築	中古	在庫率	在庫率	購入指数	金利	指数	一戸建て	2~4戸	5戸以上	住宅許可		
06/01	6963	1173	5790	+6.4	+8.8	5.3	5.3	+1.6	6.10	57	2265	1814	27	424	2195
06/02	7088	1038	6050	+6.5	+5.8	6.4	5.2	▲10.2	6.23	56	2132	1812	35	285	2147
06/03	7161	1121	6040	+3.2	+4.4	6.1	5.6	+0.2	6.38	54	1972	1615	36	321	2085
06/04	7031	1121	5910	+7.3	+3.7	6.2	6.1	+1.1	6.54	51	1832	1524	56	252	1973
06/05	6961	1101	5860	+2.3	+3.7	6.2	6.4	▲0.8	6.64	46	1953	1587	51	315	1946
06/06	6878	1078	5800	+9.1	+0.6	6.5	6.8	▲0.8	6.72	42	1833	1478	44	311	1869
06/07	6494	984	5510	+7.0	+0.7	7.2	7.3	▲2.1	6.71	39	1760	1445	83	232	1763
06/08	6531	1021	5510	+6.4	▲1.7	6.8	7.3	▲3.2	6.41	33	1659	1365	41	253	1727
06/09	6495	1075	5420	▲2.1	▲2.3	6.4	7.3	+3.3	6.28	30	1740	1400	28	312	1638
06/10								▲3.9	6.30	31	1486	1177	43	266	1535
06/11								+6.3	6.17	33					

(注) 単位は住宅販売が千戸、その他は%

(%) 住宅購入計画比率の推移



(千戸) 新築住宅販売件数



●11月30日

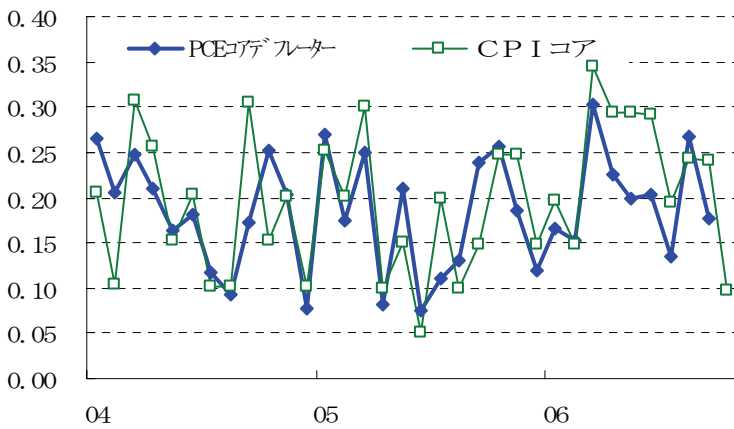
- ・10月の名目個人消費は小幅プラスにとどまるものの、実質ベースではプラス基調を維持すると見込まれる。
- ・10月のPCEコアデフレーターは自動車・衣料品価格の下落によって前月比で+0.1%と減速し、前年比でも+2.2%への鈍化が予想される。
- ・新規失業保険申請件数(11月26日)は小幅減少が予想されるものの、感謝祭の休み等によって季節調整が難しく大きく変動する可能性がある。
- ・10月の求人広告指数は、景気の減速によって新聞求人が多い業種の需要が減退していることから、前月から低下が予想される。
- ・11月のシカゴPMI景気指数は、自動車部門の生産調整を映じて前月から悪化が見込まれる。
- ・7-9月期の住宅価格指数は、前期比でプラスを維持するものの前年比で+7%程度に鈍化しよう。
- ・バイズFRB理事がバーゼルIIに関する昼食会で基調演説。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

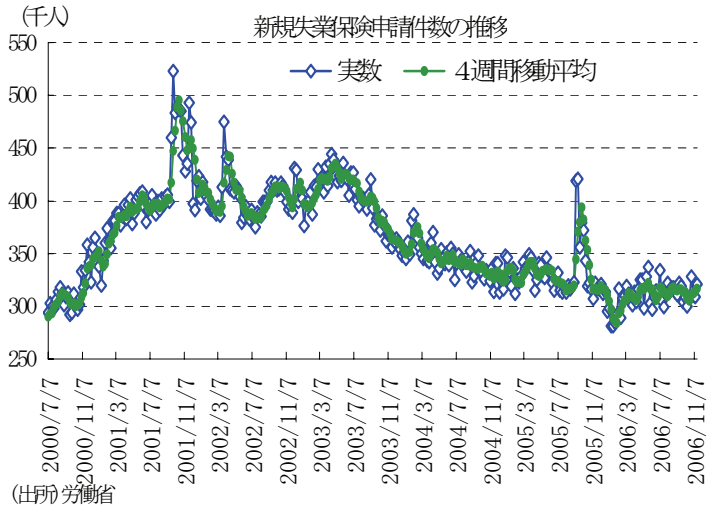
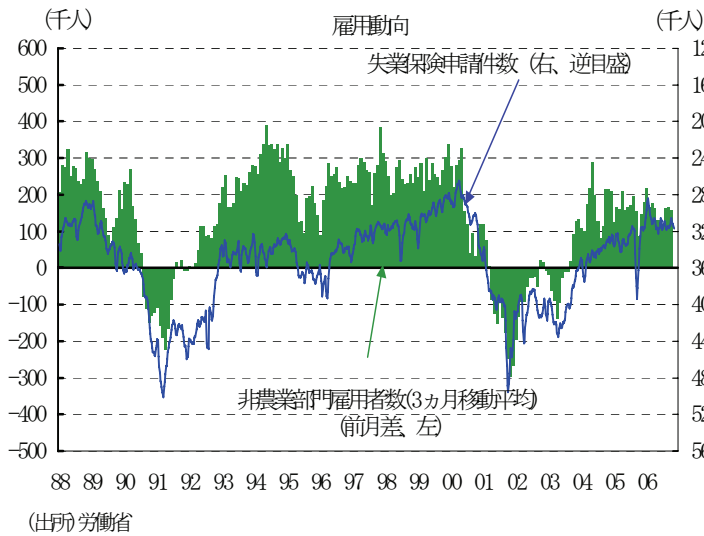
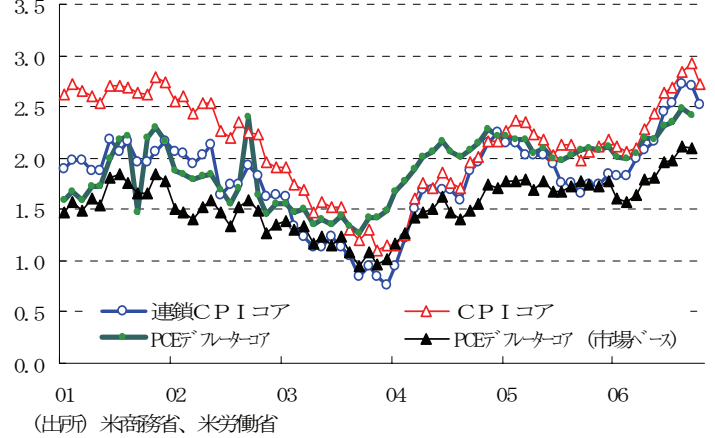
個人所得支出統計 (PERSONAL INCOME AND OUTLAYS)

名目 (Current dollars)	個人所得						実質 (Chained(1996) dollars)		貯蓄率
	個人所得	可処分所得	個人消費	耐久財	非耐久財	サービス	可処分所得	個人消費	
06/01	+1.3	+0.9	+0.9	+3.0	+2.4	▲0.3	+0.4	+0.4	▲0.3
06/02	+0.5	+0.4	+0.5	▲1.3	▲0.0	+1.1	+0.4	+0.4	▲0.3
06/03	+0.5	+0.5	+0.5	+1.1	+0.4	+0.4	+0.1	+0.1	▲0.4
06/04	+0.7	+0.5	+0.6	▲0.3	+1.5	+0.3	+0.1	+0.1	▲0.4
06/05	+0.4	+0.4	+0.7	▲0.6	+0.9	+0.8	+0.0	+0.3	▲0.7
06/06	+0.6	+0.5	+0.3	+0.5	+0.1	+0.4	+0.4	+0.2	▲0.6
06/07	+0.4	+0.6	+0.8	+2.0	+0.9	+0.5	+0.2	+0.4	▲0.8
06/08	+0.4	+0.5	+0.2	▲1.4	+0.2	+0.5	+0.2	▲0.1	▲0.5
06/09	+0.5	+0.5	+0.1	+1.6	▲1.2	+0.5	+0.8	+0.4	▲0.2

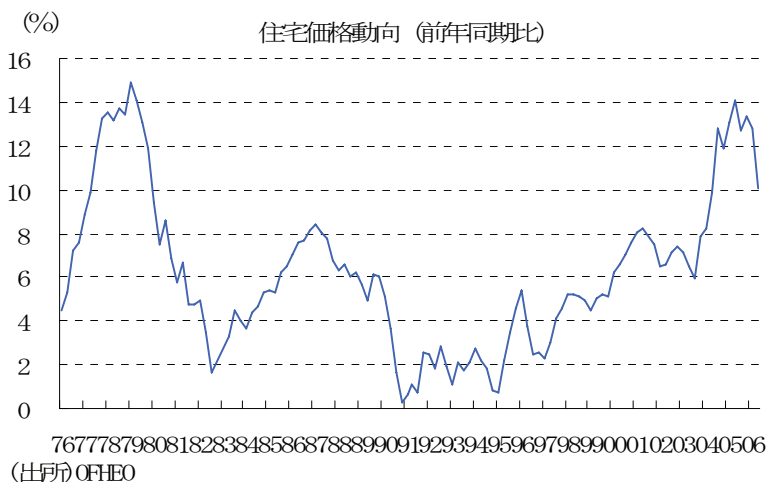
物価統計の比較 (前月比)



各種物価統計コア指数の推移 (前年同月比)



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



●12月1日

- ・10月の建設支出は、民間住宅の大幅減少によって前月比でマイナス幅が拡大すると予想される。
- ・11月のISM製造業景気指数は、11月のフィラデルフィア連銀製造業景気指数、NY連銀製造業景気指数がともに前月から改善していること等から、10月の51.2から上昇が見込まれる。
- ・11月の自動車販売台数は、1640万台（季節調整済み年率）と新車効果もあり前月程度の水準を維持しよう。
- ・バーナンキFRB議長が金融政策に関する会合で歓迎スピーチ、フィラデルフィア連銀総裁が経済成長について講演、リッチモンド連銀総裁がフィラデルフィアで講演

●12月2日

- ・コーンFRB副議長が金融政策に関する夕食会でスピーチ

＜日本・海外経済＞月間スケジュール (06年11月～07年1月)

11月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
30 9月鉱工業生産(8:50) (米)9月個人所得・消費	31 9月家計調査(8:30) 9月労働力調査(8:30) 9月職業紹介状況(8:30) 9月毎月勤労統計(10:30) 夏季賞与同時公表 9月住宅着工統計(14:00) 金融政策決定会合 10月BOJ展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)7～9月期雇用コスト指数 (米)10月消費者信頼感 (米)10月シカゴPMI (欧)10月消費者物価(速)	11/1 10月自動車販売(14:00) 10月軽自動車販売(14:00) (米)9月建設支出 (米)10月ISM製造業指数 (米)10月自動車販売台数	2 10月マネタリーベース(8:50) 9月消費状況調査(14:00) (米)7～9月期労働生産性 (米)9月製造業受注 (欧)ECB理事会 (欧)10月製造業PMI	3 (米)10月雇用統計 (米)10月ISM非製造業指数
6	7 10年利付国債 (米)9月消費者信用残高	8 9月景気動向指数(14:00)	9 10月マネーサプライ(8:50) 10月貸出・資金吸収(8:50) 10月景気ウォッチャー (米)9月貿易収支 (米)10月輸入物価 (米)11月ミシガン大センチ(速) (米)9月卸売在庫 (英)BOE金融政策委員会	10 9月機械受注(14:00) 10～12月期機械受注見通し (仏)7～9月期実質GDP
13 9月国際収支(8:50) 10月企業物価(8:50) 9月鉱工業指数・確(13:30) 9月商業販売統計・確(13:30) 10月消費動向調査(14:00) (米)10月財政収支 * (インドネシア)7～9月期実質GDP	14 7～9月期GDP速報(8:50) 5年利付国債 (米)10月生産者物価 (米)10月小売売上高 (米)9月企業在庫 (欧)7～9月期実質GDP (独)7～9月期実質GDP (伊)7～9月期実質GDP	15 9月第3次産業活動指数(8:50) 10月交易条件(8:50) 金融政策決定会合(～16日) ※11月月例経済報告 (米)11月NY連銀製造業指数 (英)インフレーションレポート	16 9月毎月勤労統計・確(10:30) 9月景気動向指数改訂(14:00) 11月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 15年変動利付国債 (米)10月消費者物価 (米)10月鉱工業生産 (米)11月NAHB住宅市場指数 (米)11月フィフ連銀指数 (欧)10月消費者物価	17 ※06年9月市街地価格指数(10:00) 9月建設総合統計(14:00) (米)10月住宅着工件数
20 (米)10月景気先行指数	21 金融政策決定会合議事要旨(10月12・13日分) 20年利付国債 (香港)7～9月期実質GDP	22 9月全産業活動指数(8:50) ※10月貿易統計(8:50)	23 (独)11月IFO景況感指数	24 * (独)11月IFO景況感指数 (台湾)7～9月期実質GDP (マレーシア)7～9月期実質GDP
27 10月CSPI(8:50)	28 10月商業販売統計(8:50) 2年利付国債 (米)10月耐久財受注 (米)10月中古住宅販売件数 (米)11月リッチモンド連銀指数 (米)11月消費者信頼感	29 10月鉱工業生産(8:50) (米)7～9月期実質GDP (米)10月新築住宅販売件数 (米)ページブック (フィリピン)7～9月期実質GDP	30 11月ロイター短観(8:30) 10月住宅着工統計(14:00) (米)10月個人所得・消費 (米)10月求人広告指数 (米)11月シカゴPMI (欧)10月消費者物価(速) (インド)7～9月期実質GDP	12/1 10月消費者物価・全(8:30) 11月消費者物価・都(8:30) 10月労働力調査(8:30) 10月家計調査(8:30) 10月職業紹介状況(8:30) 11月自動車販売(14:00) 11月軽自動車販売(14:00) (米)10月建設支出 (米)11月ISM製造業指数 (米)11月自動車販売台数 (欧)11月製造業PMI

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

12月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
27 10月CSPI(8:50)	28 10月商業販売統計(8:50) 2年利付国債 (米)10月耐久財受注 (米)10月中古住宅販売件数 (米)11月リッチメント連銀指数 (米)11月消費者信頼感	29 10月鉱工業生産(8:50) (米)7~9月期実質GDP (米)10月新築住宅販売件数 (米)ページブック (フィリピン)7~9月期実質GDP	30 11月ロイター短観(8:30) 10月住宅着工統計(14:00) (米)10月個人所得・消費 (米)10月求人広告指数 (米)11月シカゴPMI (欧)11月消費者物価(速) (インド)7~9月期実質GDP	12/1 10月消費者物価・全(8:30) 11月消費者物価・都(8:30) 10月労働力調査(8:30) 10月家計調査(8:30) 10月職業紹介状況(8:30) 11月自動車販売(14:00) 11月軽自動車販売(14:00) (米)10月建設支出 (米)11月ISM製造業指数 (米)11月自動車販売台数 (欧)11月製造業PMI
4 7~9月期法人企業統計(8:50) 11月マネタリーベース(8:50) 10月毎月勤労統計(10:30) (タイ)7-9月期実質GDP	5 10月消費状況調査(14:00) 10年利付国債 (米)10月製造業受注	6 10月景気動向指数(14:00) (豪)7-9月期実質GDP	7 10年物価連動国債 (米)10月消費者信用残高 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策委員会	8 7~9月期GDP2次速報(8:50) 11月マネーサプライ(8:50) 11月貸出・資金吸収(8:50) 10月機械受注(14:00) 11月景気ウォッチャー (米)11月雇用統計 (米)11月ミンガンズセンチ(速)
11 11月消費動向調査(14:00) (米)10月卸売在庫	12 11月企業物価(8:50) 5年利付国債 (米)FOMC (米)10月貿易収支 (米)11月財政収支	13 10月国際収支(8:50) 10月鉱工業指数・確(13:30) 10月商業販売統計・確(13:30) (米)11月小売売上高 (米)10月企業在庫	14 11月交易条件(8:50) (米)11月輸入物価	15 12月日銀短観(8:50) 10月第3次産業活動指数(8:50) 10月毎月勤労統計・確(10:30) 10月景気動向指数改訂(14:00) (米)11月消費者物価 (米)12月NY連銀製造業指数 (米)11月鉱工業生産 (欧)11月消費者物価
18 7~9月期資金循環(8:50) 12月短観業種別計数及び調査 全容(8:50) 10月建設総合統計(14:00) 金融政策決定会合(~19日) ※12月月例経済報告 (米)12月NAHB住宅市場指数	19 12月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 20年利付国債 (米)11月生産者物価 (米)11月住宅着工件数	20	21 12月ロイター短観(8:30) 10月全産業活動指数(8:50) ※11月貿易統計(8:50) 2年利付国債 (米)7-9月期GDP(最終値) (米)11月景気先行指数 (米)12月フィラ連銀指数 (独)12月IFO景況感指数	22 金融政策決定会合議事要旨 (10月31日、11月15-16日分) (米)11月個人所得・消費 (米)11月耐久財受注 (米)11月ミンガンズセンチ(確)
25 10~12月法人企業景気予測調 査(8:50)	26 11月消費者物価・全(8:30) 12月消費者物価・都(8:30) 11月労働力調査(8:30) 11月家計調査(8:30) 11月職業紹介状況(8:30) 11月CSPI(8:50) (米)12月リッチメント連銀指数	27 11月商業販売統計(8:50) 11月住宅着工統計(14:00) (米)11月新築住宅販売件数	28 11月鉱工業生産(8:50) 11月毎月勤労統計(10:30) 11月消費状況調査(14:00) (米)12月消費者信頼感 (米)12月シカゴPMI (米)11月中古住宅販売件数	29 (米)11月求人広告指数

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

07年1月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1/1	2	3	4	5 12月マネタリーベース(8:50) 12月自動車販売(14:00) 12月軽自動車販売(14:00)
8	9	10 (米)12月貿易収支	11 11月景気動向指数(14:00) ※10年利付国債 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策委員会	12 12月マネーサプライ(8:50) 12月貸出・資金吸収(8:50) 12月景気ウォッチャー
15 11月機械受注(14:00)	16 12月企業物価(8:50) 11月鉱工業指数・確(13:30) 11月商業販売統計・確(13:30)	17 11月国際収支(8:50) 12月消費動向調査(14:00) 金融政策決定会合(～18日) ※5年利付国債 ※1月月例経済報告 (米)ページブック	18 11月第3次産業活動指数(8:50) 12月交易条件(8:50) 11月毎月勤労統計・確(10:30) 11月景気動向指数改訂(14:00) 1月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30)	19 11月建設総合統計(14:00) ※30年利付国債
22	23 金融政策決定会合議事要旨 (12月18・19日分) (米)1月リッチメント連銀指数	24 11月全産業活動指数(8:50) ※15年変動利付国債	25 ※12月貿易統計(8:50) ※1月主要銀行貸出アンケート 調査(8:50) (米)12月中古住宅販売件数	26 12月消費者物価・全(8:30) 1月消費者物価・都(8:30)以上 12月CSP(8:50) ※20年利付国債
29 ※12月商業販売統計(8:50)	30 12月労働力調査(8:30) 12月家計調査(8:30) 12月職業紹介状況(8:30) 12月鉱工業生産(8:50)	31 12月毎月勤労統計(10:30)年平均同時公表 ※12月住宅着工統計(14:00) ※2年利付国債 (米)10～12月期GDP(速) (米)FOMC (フィリピン)10～12月期実質GDP	2/1 (米)12月個人所得・消費	2

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。